

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月30 日

事業所名 ココスマイル

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			子どもたちが過ごしやすいように物の置き方等を工夫し、広く使えるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	2	1		その日の利用人数や活動場所等を考え配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1	バリアフリーが必要な児童を対象としていないため行っていない。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3			全ての活動において目標設定と振り返りを取り入れている。	ミーティングで話し合い改善に繋げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2		1		保護者様のアンケート結果を把握し、改善へと繋げている。 アンケートの把握は出来ていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	1	1	ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	2		第三者評価委員会は取り入れていない。 外部評価を行っているか知らない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			定期的に行い向上に繋げている。 年間計画を立て、全職員が参加できるようにしている。	
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1			保護者様の意見はとても大切にしており、反映できるよう努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		オリジナルのアセスメント用紙を使って対応している。 ミーティングで話し合い状況の把握をしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			月にチームを作り行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3				毎月違う活動を計画し固定化しないよう努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			平日、休日毎にやり方を工夫しとても頑張っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			状況に合わせて各職員が対応できている。 各種活動において、細やかに設定しとても工夫している。	

抜 の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		毎日ミーティングを行って情報交換をしている。	毎日のミーティングに加え全体ミーティング日等も計画し出来るように努めている。
------------------	----	------------------------------------------------	---	--	------------------------	----------------------------------------

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			毎日のミーティング時間を作り行っている。	終了後ではなく、次の日のミーティングで話し合いをしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			子どもたちとの相談内容や支援等に関してミーティングノートに記録すると共に活動報告書等を使ってしっかり行っている。	毎日の連絡帳で細かな気づきも書いている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3				児発管が適切に行っている。他職員もサポートをしている。保護者様と話し支援書の内容を定期的に伝えている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3			基本活動プラスで支援を行っている。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			その都度、柔軟に判断をしている。	ミーティングに組み込みながら行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3				学校側から断られることが多く困っている。法律などを作ってほしい。対応してくれない学校が多すぎる。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2			服薬などの管理は保護者と連絡を取り合っている。	受け入れる際はしっかりと作っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	1		あちら側の許可があれば行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	1		その場合はしっかりと行う	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			1	2		行っていない
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	1		近所の公園にて一般の子達と遊ぶ機会等を確保出来るよう努めている。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している				3		していない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3				電話やメッセージ送迎時を使い日々努めている。	

29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2			トレーニングまでは行えていないがアドバイスや方法の提案など積極的に行っている
----	-------------------------------------------------	---	---	--	--	----------------------------------------

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			管理者が契約時に説明している。職員へも研修を通して伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			電話・メール・対面line等幅広く対応し相談しやすい環境作りをしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	2		行えていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			苦情窓口を設置しておりいつでも対応できるようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			毎月活動予定表を配布している	
	35	個人情報に十分注意している	3			管理体制を整えている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			話し方伝え方等に気を配り分かりやすさを第一に考え行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	2		行えていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3			研修内容にも組み込み周知出来るように努めている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			職員・子どもたちどちらへも春・夏・冬年に3回以上行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			力を入れて行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			まず、しない事を念頭に置いて職員教育へ力を入れている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1		2		指示書ではないが保護者様よりお話をしっかりと聞き対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3				